



「先生はどのようなことを研究テーマにされておられるのでしょうか。」

私は統計学について研究しています。その中でメインが二つあります。一つ目ですが、例えば、社会調査でアンケートをする場合に30項目も質問があればつらいでしょう？でも同じ情報を得るのに10項目であれば嬉しいですよね。この作業を「変数又は項目選択問題」といいます。具体的には仕事をしている大人の疲労検査用のアンケートを子供用にする場合や、健常者のアンケートを身体障がい者

とを実現するアイデアを作つたときに、理論とコンピュータの結果が一致すれば深い達成感を得ることが出来ます。

「ところで、今の学生に求めていることといえば、何なんでしょう？」

誰かに言われたことをするのではなく、そこに自分なりの工夫を加えて欲しいですね。十言われたら二十をするように一生懸命に頑張る、今よりも

「も上のレベルを求める貪欲な学生になつて欲しいと思つています。」

「先生は大学時代、そのような二つの研究は、どちらが得意でしたか？」

学生だったのですか？」

用に作り直すときには、質的な質問と量的な質問が混ざったデータを同時に分析したり、その計算速度を上げる研究を黒田先生と一緒に行つたりしています。

もう一つはWebサイトを用いた統計教育です。これは実際に授業でも使っていますね。

「それらの研究の面白さといえば、何ですか？」

何よりもこれらの研究は現実に役立ちますので、解決に向かっていく面白さがあります。

また、新しい理論（やりたいこ

【瞬・瞬、一生懸命】信条に

忙しすぎる大学教授？！

森研究室は、社会情報学科情報系の研究室の一つです。主に、統計とプログラミングについて研究しています。森

研究室では、統計を絡めることでどんなテーマでも卒業研究をすることができます。政治、経済、歴史、自分の好き

なことで卒業研究できるところが、森研究室の強みです。

森先生は、大学の入試広報部の役職を兼任されており、非常に忙しい先生です。授業をしたあと、毎日のように会議、ときには国内出張、海外出張、そんな忙しい中でゼミにもきちんと顔を出してくださる先生です。ゼミ生が、進路や卒業研究で悩んでいるときもすぐに気付いてくださります。学生に対して全く怒ることのない懐の深さ、いつもお手本になる真面目さ、おしゃべり好きは大学一番だと思います。そして、バンドマンとしてドラム担当というギャップも兼ね備えた、たくさん魅力ある先生です。

（ゼミ生 下山 真一 14年3月卒）

《担当講義》

- 社会調査法
- データ解析システム
- 行動計量学

《研究テーマ》

- データ解析とコンピュータ

《プロフィール》

- 出身県:兵庫県
- 血液型:O型
- 星座:ふたご座
- 好きな言葉:一生懸命、不言実行

《主な履歴》

- 神戸市立魚崎中学校、大阪教育大学附属天王寺中学校で数学を教えた後、倉敷市立短期大学を経て現職。
- 倉敷市立短期大学在職中に岡山大学大学院後期博士課程に社会人入学し、博士（学術）の学位を取得。